

〈論文〉

日・韓・朝のテレビニュースが伝えた 「3・1独立運動」100周年

田中則広

要約

植民地統治期の朝鮮における最大の民族運動である「3・1独立運動」から100年目を迎えた2019年、日本と韓国、および、日本と朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）は、歴史認識をめぐる対立し、解消の兆しの見えない状況が続く。こうした中、本稿では歴史認識をめぐる捉え方の差異を検証する一環として、日本、韓国、北朝鮮の各国で放送されたテレビニュースを中心に、内容の比較・分析を試みた。その結果、3・1独立運動に対する報道姿勢について、それぞれの国において顕著な特徴のあることが明らかになった。

キーワード

独立運動 テレビニュース KBS JTBC 朝鮮中央テレビ

はじめに

日本の朝鮮植民地支配は、1910年8月22日の「韓国併合ニ関スル条約」、および、同月29日の「韓国併合ニ関スル宣言」によって始まった。韓国併合からの10年間、日本は朝鮮において陸軍の憲兵が一般の警察をも兼ねる憲兵警察体制を背景に植民地支配の基盤作りを進めた。いわゆる「武断政治」期と呼ばれるこの時期、朝鮮総督府は経済的支配体制を固めるための作業として「会社令」を公布（1910年12月）、施行（1911年1月）するとともに、「朝鮮土地調査事業」にも取り組んだ。この事業の結果、朝鮮総督府の財政の基礎が確立し、国有地が創出される一方で、多くの農民が土地を収奪されて小作人に転落していった。このほか、言論や集会の自由なども厳しく制限を受けていた。こうした朝鮮総督府の政策は朝鮮の民衆の独立意識を高め、義兵や愛国啓蒙運動家たちは「満州」やシベリアに根拠地を設けて長期抗戦の体勢をとった。また、当時の国際社会に目を向けると、第一次世界大戦が終結し、ロシアでは革命が起これ、米国では大統領のウィルソン（Thomas Woodrow Wilson）が「十四か条の平和原則（Fourteen Points）」において民族自決を提唱するなどし、これら一連の出来事が、朝鮮の知識人に多大な影響を及ぼした。

朝鮮における3・1独立運動の「導火線」の役割を果たしたのは、東京留學生の決起であった。東京では1918年末から翌年1月にかけて、留學生団体である学友会の会長崔八鏞（早稲田大学専門部政治

たなか のりひろ：淑徳大学 人文学部 准教授

経済科)らが中心になって秘密会議を繰り返し、李光洙を上海に、宋継白をソウルにそれぞれ派遣して、東京留学生たちの決起計画を伝え、それへの呼応を訴えた。1919年2月8日、東京西神田小川町の朝鮮基督教青年会館に、学友会の役員選挙の名目のもとに集まった約600名の留学生は、朝鮮成年独立団の名のもとに独立宣言書、民族大会召集請願書を採択し、各国大・公使館、日本政府の各大臣、貴衆両院議員、朝鮮総督府、各新聞・雑誌社、諸学者に発送した。留学生たちは独立宣言の後、示威を始めようとしたが、警察と衝突し、崔八鏞をはじめ60余名が逮捕され、そのうち10数名が負傷した。こうした朝鮮人学生の運動は2月いっぱい続いて起こり、この運動が上海の李光洙を通じて朝鮮や海外に報道され、3・1独立運動の直接の刺激になった¹。また、朝鮮では同年1月に高宗が急死し、日本による毒殺説が広まる中、3月3日の国葬日に向けて独立運動計画が活発化していた²。これらの出来事を契機として、3月1日、日本の植民地統治下の朝鮮における最大の民族独立運動が発生した。

独立運動は3月1日にソウルをはじめとして、平壤、鎮南浦、安州、義州、宣川、元山などの地域で同時に発生し、続いてキリスト教、天道教関係の民族代表の大部分の出身地域である北朝鮮の平安南・北道、黄海道、咸鏡南・北道の主要都市に広がり、そして10日前後には南朝鮮地域の全羅南・北道、慶尚南・北道、江原道、忠清南・北道へと全国13道に波及していった。また3月6日には中国の西間島で、13日には北間島で発生し、さらにシベリア沿海州、アメリカでも運動が展開された³。朝鮮内では1919年3月から5月に最も集中的に闘われたが、全体的には約1年間にわたって日本、中国、ソ連沿海州、アメリカなどの海外在住朝鮮人をも含めた全民族的な抗日独立運動であった⁴。

本稿では、これまでに多数の研究が出ているため、3・1独立運動の詳細についてはこの程度にとどめ、日本、韓国、北朝鮮の主要テレビ局の代表的なニュース番組を対象に、3・1独立運動の取り上げ方に関して比較・分析することに主眼を置いた⁵。比較・分析の対象は、3・1独立運動を記念する象徴的な日である2019年3月1日のテレビニュースである。ただし、北朝鮮の朝鮮中央テレビは、3・1独立運動に関してはメインニュースの『20時報道』では扱わずに、2月28日、3月1日の両日にわたって座談会形式により取り上げたため、こちらを検討対象とした。

1 韓国

考察の対象は、公共放送(韓国では「公営放送」の名称が用いられる)KBSの『ニュース9』、および、総合編成チャンネルJTBCの『JTBCニュースルーム』とした⁶。3月1日に放送されたニュースの中では、『ニュース9』の視聴率が最も高く13.8%⁷、また、『JTBCニュースルーム』の視聴率は4.7%⁸と、総合編成チャンネルのニュースの中では最も高い数値を示した。

2 (1) KBS

『ニュース9』は、ヘッドライン5本のうち、1本目と2本目が3・1独立運動関連のニュース、それ以外は、2月27日と28日の両日にベトナムの首都ハノイで開催された米朝首脳会談関連のニュースであった。

ニュース全24項目のうち、3・1独立運動関連のニュースはトップ項目となっており、内容は3つの報告からなる。その後、項目2～9ではベトナム、米国、中国3か国の首都からそれぞれ生中継などを交えての米朝首脳会談関連ニュースが続くが、項目10～15では再び、3・1独立運動関連のニュースを取り上げている。また、スポーツニュースの項目22と23においても日韓の歴史に関する内容を扱っている。3・1独立運動関連ニュースの放送時間は26分59秒に及び、ニュース全体の約48.25%を占

めている。

〈項目1〉

ニュース項目は、その多くが2分から3分程度で制作されている。しかし、トップ項目の「百年の歴史 正す文書を見つけた」は、例外的に10分を超える長さになっている。

構成は、キャスターによる前説、3本の記者リポート、キャスターによる後説から成り立っている。ソウルの中心部に位置する大韓民国歴史博物館に屋外の特設スタジオを設け、前説ではスタジオ後方に映る景福宮の手前部分にAR(拡張現実)技術を用いて、かつて存在した朝鮮総督府の庁舎を再現する演出を行なっている。その際にキャスターは、「日本の意図は明確です。朝鮮と朝鮮王室の象徴であった景福宮に総督府を建てて、民族的自尊心を踏みにじり、日帝の支配力を見せようとしたのです」とコメントしている。

次に、3本の記者リポートであるが、それぞれが、独立した項目として扱っても差し支えない内容、および、尺であるが、あえて独立させずに1つの項目にまとめるという特色あるスタイルで伝えている。

1本目のリポート「‘3・1運動系譜図’発掘」では、3・1独立運動以降、警戒心を高めた日本政府が密偵を活用して綿密な監視網を設けたという公文書の存在をきっかけに、KBSの取材陣が、3・1独立運動と密偵に関する史資料を数か月にわたって探す中で、朝鮮総督府が作成した3・1運動の系譜図を東京の古書店で発見したことを伝えている。この系譜図には、天道教(東学)の第3代教主で独立運動家の孫秉熙が最上位に記され、その下に、3・1独立運動の際に発表された「独立宣言書」に署名した33名(民族代表33名:天道教、キリスト教、仏教からそれぞれ15名、16名、2名が参加)のうちの天道教の人士たち、さらにその下に、天道教の各地域の責任者が続いている。この他、キリスト教や仏教の人士たちについても記されており、100名を超える3・1独立運動の主導者たちが登場する系譜図が発見されたのは初めてであると報じている。そして、この史資料の持つ意味と、忘れられた独立運動家は誰なのかについての検討を行なった結果、3・1独立運動が組織化された独立運動であったという事実を再確認するとともに、特に既存の史資料では見つけることが難しかった「3・1独立運動の隠れた主役」が少なからず含まれていたという点が見えてきたと伝えている。

2本目のリポート「新たに明らかになった34名」は、系譜図を通して新たに登場した「3・1運動の主役」に関する内容である。系譜図には140名の人物が登場するが、このうち、韓国政府によって歴史的評価が行なわれた人々を除き、新たに34名の人物の存在が明らかになったことを伝えている。取材陣が34名に関して国家報勲処に問い合わせたところ、このうちの9名については独立有功者審査が行なわれており、10名については「親日」や「越北」などの行ないを見せた人物であるとの回答を得たとしている⁹。ただし、残りの15名については、韓国政府の記録がなかったと伝えている。

この事実を受けて、3本目のリポート「隠れた主役15名は誰?」では、「元普成専門卒業生」と記された朱翼、および、「京畿道利川礼拝堂牧師」と記された李康雨の両名を取り上げ、彼らの子孫を探し出してインタビューを行なったほか、民族問題研究所との共同調査により、15名のうち、一部の人物の痕跡を探し出した。そして、3・1独立運動の主役であったが歴史の中で消えた人々、彼らに対する再評価が必要であるという事実は確認することができたと伝えている。

この項目の後説部分では、朝鮮総督府の庁舎が崩れる様子を再現するとともに、キャスターの「このように崩れてしまっこそ、その後に恥辱を強いられた景福宮が本来の姿を見つけました。しかし解放以降、220名を超す親日派人士が大韓民国の勲章を受けました。歴史の本来の姿はいつ取り戻すのか、依然として残る質問です」というコメントで締めくくっている。

〈項目10~15〉

項目10は、3月1日に光化門広場で開催された「第100周年3・1節記念式」の様子を伝えている。この中で、文在寅大統領による、親日残滓の清算はあまりにも長い間先送りにされてきた宿題であり、未来志向的な清算を強調するなどといった演説を紹介した。

項目11は、日本との間で領有権問題を抱える「独島」(日本名:竹島)からの中継で、「韓国領」と彫られた岩を背にした記者が、「独島は悲しい歴史を秘めた土地」「日本が韓半島を侵略する過程で、真っ先に奪った場所」とした上で、「独島は単純な領土ではなく、日本帝国主義の沈没とともに取り戻した歴史の土地である」と伝えている。同時に、独島警備隊員たちが「万歳」を叫ぶ姿や、独島を訪問した70余名の市民団体会員による、独島が韓国の島であることを明らかにする宣言文の朗読の様子についても伝え、「日本政府は依然として独島領有権を主張する妄言を連発していますが、3・1運動100周年を迎えた今日、独島で鳴り響いた歓声は、独島が変わらない我々の土地であることを確認してくれました」というコメントで結んでいる。

項目12は、植民地期に独立運動家たちが収容された西大門刑務所からの報告で、3・1独立運動に主導的に参加して刑務所に入れられた1,000余名の情報を分析し、AR技術を用いて紹介している。

項目13では、「独立万歳」を叫びながら皆が一丸となった100年前の3月1日は、民主主義発展の原動力になったと伝えている。

項目14と15は中国からの報告であった。項目14は、大韓民国臨時政府杭州旧跡記念館前からの中継で、中国には臨時政府の跡地が8か所あるにもかかわらず、3・1節の記念式は杭州だけでしか行われない事情についてレポートしている。韓国人にとっては特別な空間であるが、所有者の中国政府は、日本を刺激しかねない記念式を負担に思っているという側面があったとした上で、こうした状況であるにも関わらず、僑民たちが中国側の臨時政府管理処と地方政府を説得して、8年前に記念式の開催許可を得たと伝えている。

抗日独立運動は、中国国内において大韓民国臨時政府を中心に統合されたが、そこに至るまでには紆余曲折があった。その際に大きな役割を果たしたのが、独立運動家でアナーキストの柳子明という人物であった。項目15は、忠州農業学校教師時代に3・1独立運動への加担が発覚し、中国への亡命を余儀なくされた柳子明に関する報告である。

〈項目22・23〉

項目22と23はスポーツニュースであるが、3・1独立運動に関係する内容が含まれている。項目22は、サッカー界で活躍を続ける韓国の孫興慜選手が、ロンドンに本拠地を置くプレミアリーグチームの所属選手の中で、年間最優秀選手に選ばれたという内容。また、孫興慜選手がSNS上で太極旗(韓国の国旗)を掲げる写真とともに発信したメッセージ「今日は3・1節100周年となる日です。皆さんが独立闘士と殉国先烈の崇高な犠牲を記憶する日になることを願います」についても伝えている(項目44秒中12秒)。

項目23では、サッカーの日韓戦で時折、観客席に掲げられる旭日旗について取り上げ、過去の日本帝国主義の「戦犯の象徴」ともいえる旗を掲げることの問題と、その解決策について言及している。

〈エンディングコメント〉

まず、男性キャスターが、『私たちは今日、朝鮮が独立した国であり、朝鮮人がこの国の主人であることを宣言する』。100年前、独立宣言の最初の文章です。国民が主人の国、3・1運動は奪われた主権を取り戻すための主人たちの当然の叫びでした」とコメントした。続いて女性キャスターが、「200万

表1 『ニュース9』のニュース項目(放送日時:2019年3月1日 21:00~)

No.	ニュース項目	項目入り時間(尺)
	【ヘッドライン】	
	(CG画面)	0'00"~(5秒)
①	'3・1運動系譜図'単独発掘…隠れた主役がいた	0'05"~(14秒)
②	100周年記念式……“親日清算 長らく先送りしておいた問題”	0'19"~(22秒)
③	金正恩明日午前出発……習近平と会う可能性	0'41"~(13秒)
④	北米、“制裁解除”をめぐる反論VS再反論	0'54"~(14秒)
⑤	“千載一遇の機会を逃す”……米“交渉復帰を望む”	1'08"~(12秒)
	【ニュース】	
	(CG画面・特設スタジオ・キャスター前説)	1'20"~(1分36秒)
①	百年の歴史 正す文書を見つけた	2'56"~(10分11秒)
	(CG画面「節目を迎えた‘新韓半島’」)	13'07"~(7秒)
②	決裂後初の公式の動き……明日帰国の途に	13'14"~(2分07秒)
③	北 会見を自ら要望…“一部制裁だけ解除要求”	15'21"~(1分57秒)
④	北が提示したカードは‘寧辺の永久廃棄’	17'18"~(2分01秒)
⑤	制裁・寧辺の廃棄をめぐる食い違った主張	19'19"~(2分05秒)
⑥	“千載一遇の機会を逃す”……非難は自制	21'24"~(2分00秒)
⑦	“いつか何か起きる”……今後の交渉示唆	23'24"~(2分38秒)
⑧	中、‘役割’繰り返し強調……朝中首脳会うのか?	26'02"~(2分01秒)
⑨	“北米妥結必ず成功”……突破口模索	28'03"~(3分03秒)
	(インターミッション)	31'06"~(17秒)
⑩	“親日残滓清算 長らく先送りしておいた問題”	31'23"~(2分03秒)
⑪	一番最初に奪われた独島で鳴った‘万歳’	33'26"~(2分23秒)
⑫	野火のように広がった‘民衆の革命’	35'49"~(2分31秒)
⑬	民衆の力、民主主義発展の原動力	38'20"~(2分22秒)
⑭	臨時政府の遺跡8か所中、杭州だけ記念式	40'42"~(2分23秒)
⑮	左右を超えて統合の先頭に立った独立運動家	43'05"~(2分31秒)
	(インターミッション)	45'36"~(5秒)
⑯	中国を飛び越えた超微細粉塵の濃度	45'41"~(2分01秒)
	【フラッシュニュース】	
⑰	‘始業延期の幼稚園’明日リスト公開	47'42"~(21秒)
⑱	‘環境部ブラックリスト疑惑’金恩京前長官 補佐官調査	48'03"~(23秒)
⑲	先月の輸出11.1%減少……3か月連続減少	48'26"~(24秒)
	【スポーツ】	
	(スポーツ9 オープニング)	48'50"~(17秒)
⑳	Kリーグ開幕…開幕戦連勝‘ストップ’	49'07"~(1分50秒)
㉑	171cm‘最短身’……外郭シュート誇示	50'57"~(50秒)
㉒	ロンドンを本拠地とするチーム中‘最高の選手’	51'47"~(44秒)
㉓	スポーツにも旭日旗は今なお……	52'31"~(1分47秒)
	【天気】	
㉔	明日まで高濃度微細粉塵	54'18"~(57秒)
	【エンディング】	
	(特設スタジオ・キャスター後説)	55'15"~(41秒)

人が参加し、それより多くの人々の意志が集まって可能にしました。民主主義を立て直し、歴史を変えるのは市民たちです」というコメントで締めくくった。

(2) JTBC

『JTBCニュースルーム』は、ヘッドライン5本のうち、1本目が3・1独立運動関連のニュースであった。

ニュース全30項目のうち、3・1独立運動関連のニュースは項目1から項目3まで、その後、米朝首脳会談関連ニュースを挟んで、項目12から項目16まで、そして、項目27でKBSと同様、サッカーの孫興慜選手のニュースを伝えた。3・1独立運動関連ニュースの放送時間は15分44秒と、ニュース全体の約26%を占めた。

〈項目1～3〉

項目1では、3・1独立運動100周年を迎え、韓国各地で太極旗を振りながら「万歳」を叫ぶ人々の行列が続いたことを伝えた。

項目2は、100年前の3月1日を思いながら7つの宗教団体が一緒に行なった「打鐘式」の様子を伝える内容で、ソウルの曹溪寺や安東教会などの様子を取り上げている。

項目3は、「第100周年3・1節記念式」における文在寅大統領のメッセージを伝える内容である。この中で、「力を合わせて被害者たちの苦痛を実質的に治癒する時、韓国と日本は心が通じ合う真の友人になるでしょう」「誤った過去を省察する時、我々はともに未来に向かって行くことができます。民族精気の確立は国家の責任であり、義務です」などといった大統領の発言を伝えた。

〈項目12～16〉

項目12は、中国に臨時政府を樹立した独立運動家たち、李陸史(1904～44)、沈薫(1901～36)、安昌浩(1878～1938)の痕跡を訪ね歩くという内容である。

項目13は、古地図を通して見た独島についてのレポートである。日本に最初に奪われた我々の土地独島は、植民地支配が終わった後も紛争地域に追いやられているものの、古地図は真実を語っているとしている。

「慰安婦」被害者の故金福童さんは、同胞たちが通っている日本の学校の学生たちを助けて欲しいという言葉を残して2019年1月、92歳で亡くなった。金福童さんの意志を受け継いだ92歳の「慰安婦」被害者、吉元玉さん。項目14では、大阪の朝鮮人学校を訪問する吉元玉さんの様子を伝えている。

項目15は京都府宇治市ウトロ地区からの報告である。ウトロ地区は、植民地期に日本軍の飛行場建設に動員され、日本の敗戦後、帰国できなかった同胞たちが集住した場所であると伝えている。1987年に土地が売却されると、住民たちは強制退去する必要が生じたが、日本と韓国の市民団体や韓国政府によって土地の3分の1を確保することで問題を乗り越えた。ただし、その他の土地からは立ち退かなくてはならず、2022年にはウトロ地区の昔の面影は消えることになっている。撤去作業が進むウトロ地区の様子を伝えている。

項目16は、蔚山大公園の東門前に強制徴用労働者像が建立されたというニュースである。韓国国内では6体目となるこの銅像は、つるはしを両手で握りしめた青年、しかし、体は痩せ細った老人の姿をしている。レポートでは銅像について、「依然として責任を回避する日本に対する被害者の憤怒と当時の劣悪な労働環境を表現した」と伝えるとともに、最後は、銅像の足元に貼られた「日本は謝罪しろ！」と書かれた紙のクローズアップ映像で締めくくっている。

〈項目27〉

項目27は、「フラッシュニュース」の扱いで、孫興慜選手がロンドン・フットボールアワーズで、年間最優秀選手に選ばれたこと(項目26秒中18秒)、また、所属先のトッテナムが3・1節100周年を迎え、フェイスブックに孫興慜選手が太極旗を手にした写真を掲載したことを伝えている(項目26秒中8秒)。

表2 『JTBCニュースルーム』のニュース項目(放送時間:2019年3月1日 19:55~)

No.	ニュース項目	項目入り時間(尺)
	【ヘッドライン】	
	(スタジオ・キャスター 1S)	0' 00" ~ (6秒)
①	3・1運動100周年……“独立運動 礼遇受けねば”	0' 06" ~ (17秒)
②	北・米‘決裂背景’相反する主張……真実は？	0' 23" ~ (27秒)
③	ベトナム主席・総理と会談……明日列車で帰還	0' 50" ~ (19秒)
④	‘始業延期幼稚園’明日リスト公開	1' 09" ~ (23秒)
⑤	韓国の乗客が暴れ、旅客機引き返し……FBIが逮捕	1' 32" ~ (18秒)
	(スタジオ・キャスター 1S)	1' 50" ~ (10秒)
	【ニュース】	
	(スタジオ・キャスター 2S前説)	2' 00" ~ (25秒)
①	全国‘太極旗の波’……東京でも‘万歳行列’	2' 25" ~ (1分40秒)
②	“神社参拝反省”……宗教界も‘その日の精神’振り返って	4' 05" ~ (1分35秒)
③	“親日残滓清算は義務”……誠意ある謝罪も求める	5' 40" ~ (1分49秒)
④	北“一部解除要求”VS米“全面解除要求” 反論・再反論……‘制裁緩和-寧辺+α’真実ゲーム	7' 29" ~ (2分25秒)
⑤	“委員長同志が……”北、深夜の緊急会見 “米国との取引に意欲を失わなかったかという感じ”	9' 54" ~ (2分08秒)
⑥	半日で再反論……“北、寧辺も一部閉鎖提案”	12' 02" ~ (1分23秒)
⑦	“全面解除vs一部解除”衝突……‘5つの制裁’何か	13' 25" ~ (3分53秒)
⑧	北朝鮮も米国も‘追加対話余地’は残した	17' 18" ~ (1分44秒)
⑨	ベトナム主席と会談後晩餐会……明日列車で帰還する模様	19' 02" ~ (4分41秒)
⑩	‘北・米 仲裁’取り出した文大統領、今後どのように？	23' 43" ~ (2分36秒)
⑪	韓・米 4日から‘19-1練習’……縮小基調維持	26' 19" ~ (22秒)
⑫	李陸史・安昌浩の痕跡……振り返って見た‘独立の道’	26' 41" ~ (2分20秒)
⑬	‘独島は朝鮮の土地’真実語る日本の昔の地図	29' 01" ~ (1分50秒)
⑭	‘福童姉さん’志を守ろうと……朝鮮学校を訪れた92歳のお婆さん	30' 51" ~ (1分35秒)
⑮	退去の危機乗り越えたが……壊される‘哀歓の歴史’	32' 26" ~ (2分46秒)
⑯	‘徴用労働者像’蔚山に設置……釜山ではまた霧散	35' 12" ~ (1分44秒)
⑰	教育部“始業延期164か所だけ”……明日リスト公開	36' 56" ~ (1分48秒)
⑱	韓国人乗客が暴れて引き返し……FBIが逮捕	38' 44" ~ (1分41秒)
⑲	海上警察管制に穴……‘広安大橋貨物船衝突’知らなかった	40' 25" ~ (2分07秒)
⑳	松坡区議員、同僚議員に‘議事棒’振り回す	42' 32" ~ (1分27秒)
㉑	駐中大使 張夏成、駐日大使 南宮杓 有力	43' 59" ~ (1分35秒)
㉒	トランプに向かった攻勢……今度は‘金庫番’聴聞会？	45' 34" ~ (1分35秒)
㉓	住宅価格ももっと下がる？……ソウルのアパート売買歴代最低	47' 09" ~ (1分25秒)
㉔	家で印刷した‘100億小切手’……修理費で出して逃走	48' 34" ~ (1分16秒)
	【フラッシュニュース】	
㉕	60代息子、老母救おうと炎で……母子ともに死亡	49' 50" ~ (21秒)
㉖	飲酒運転で川に‘どぶん’……車両捨てて逃走	50' 11" ~ (27秒)
㉗	‘ロンドンチーム最高選手’孫興慜……3・1節記念写真も	50' 38" ~ (26秒)
㉘	屋根裏で発見されたカラヴァッジョ傑作……1900億ウォンと推定	51' 04" ~ (25秒)
	【ビハインドニュース】	
㉙	キーワード「終る時まで終わったのではない」と「これは太極旗ではない」の記者解説	51' 29" ~ (7分15秒)
㉚	手には太極旗、口にはマスク……明日も非常低減措置	58' 44" ~ (1分22秒)
	【エンディング】	
	(スタジオ・キャスター 2S後説)	60' 06" ~ (15秒)

KBSもJTBCも3・1独立運動関連ニュースから始まって、米朝首脳会談関連のニュースに続き、再び3・1独立運動関連ニュースを伝えるという流れでは一致している。ただし、3・1独立運動関連の放送時間は、KBSが全体の半分近い時間を割いている一方で、JTBCは4分の1程度となっており、大きな違いが見られた。また、エンディング部分でJTBCは、KBSのようにキャスターによる3・1独立運動に関しての言及は行なわなかった。

2 北朝鮮

当初は国営放送の朝鮮中央テレビジョン(KCTV)の『20時報道』を考察の対象とする予定であった。しかし、3月1日の放送分では、3・1独立運動に関するニュースは取り上げられなかったため、2月28日、3月1日の両日にわたって放送された座談会『我が民族の反侵略闘争史にはっきりとした地獄を残した3.1人民蜂起(原文:우리 민족의 반침략 투쟁사에 뚜렷한 지옥을 남긴 3.1 인민봉기)』を検討対象とした。この「3・1人民蜂起」とは、北朝鮮において3・1独立運動を示す際に用いられている名称である。

2回に分けて放送された座談会は、日本や米国による「侵略の歴史」を教育するための施設である中央階級教養館で行なわれた。出演者は4名で、肩書と氏名は以下のとおりである。

- ・社会科学院歴史研究所所長 博士 副教授 ファン・ミョンチョル(황명철)
- ・社会科学院歴史研究所室長 博士 副教授 ウィ・グァンナム(위광남)
- ・中央階級教養館副館長 ユン・ヒオク(윤희옥)

なお、司会・進行役の男性の肩書と氏名は表示されなかった。

2月28日に放送された第1回目の座談会の放送時間は11分53秒で、内容に関しては司会者が、「3・1人民蜂起がどのように起きたのか、その動機と蜂起の過程で発揮された我が人民の不屈の闘争精神をめぐると話」であると伝えている。

具体的にはまず、3・1人民蜂起の発生の動機として、それ以前の10年間にわたる「武断統治」を挙げている。この中で、社会科学院歴史研究所のファン・ミョンチョル所長(以下、ファン所長)は、「寺内正毅初代朝鮮総督は、『朝鮮人は日本の法に服従するか、でなければ死ななければならない』との暴言を吐いたが、これは当時の日本が朝鮮で実施していた悪徳植民地統治の視線をそのまま反映したものである」と述べ、同じく社会科学院歴史研究所のウィ・グァンナム室長(以下、ウィ室長)が、「武断統治は日帝(「日本帝国主義」の意)が我が国を完全に強占(「強制的に占領」の意)した1910年から1919年までの期間の中世期的な恐怖政治を言います。日本はこの野蛮な武断統治期に我が国において植民地暴圧統治を実施し、基本手段である憲兵警察機関のような暴圧機構と、見張りのような悪法を大々的に作り出した」と発言した。また、中央階級教養館のユン・ヒオク副館長(以下、ユン副館長)は、

8 「日帝は憲兵警察とともに、こうした各種の悪法を動員して数多くの人々を逮捕・拘禁した。1912年に監獄に監禁された人々の数が5万2,000人であったのが、6年後の1918年にはおよそ3倍の14万2,000人であった」と、数値を列挙しながら説明した。司会者は、これらの発言をまとめる形で、「1910年に日帝が完全に我が国を強占した後、植民地統治の10年間はそれこそ、終わりになき苦痛の中で我が人民がさまよった受難の時代、暗黒の時代、飢餓の時代であったと、このように言えるのではないでしょうか」と出演者に同意を求めている。

次に、蜂起の過程で発揮された人民の闘争精神をめぐっては、3・1人民蜂起の様子を取り上げながら紹介している。北朝鮮においては3・1人民蜂起と称される3・1独立運動であるが、その経過について

ては当時、陸軍省が詳しくまとめており、「三月一日京城ニ於テ勃發スルト共ニ地方ニ於テハ平安南道平壤鎮南浦、安州、平安北道義州、宣川、咸鏡南道元山ノ六箇所ニ勃發シ」¹⁰と記録されている。ただし、座談会においては司会者が、「平壤で始まった大衆の独立示威闘争」が、「朝鮮半島全体に急速に波及した」と伝えている¹¹。また、ウィ室長は、「この反日蜂起は平壤だけでなく、京城でも起きた」と付け加えた上で、「平壤や京城で発生した反日示威は、中国東北地方やロシアの沿海州、日本、ハワイをはじめとする朝鮮人居住地域に急速に波及した」と説明した。

この他、日本からの独立運動に参加して逮捕され、刑死した柳寛順(1904~20)による獄中闘争の事例や、3・1人民蜂起を伝えた外国の新聞の事例についても取り上げた。

続いて、3月1日に放送された第2回目の座談会について見ていく。放送時間は11分19秒で、「我が人民の正義の3・1人民蜂起を野獣的に弾圧した日帝の犯罪」について語っている。

具体的には、弾圧のための法整備、および、人民蜂起の歴史的意義に関しての内容であった。まず、法整備についてウィ室長は、「何よりも明らかにしなくてはならない問題は、3・1人民蜂起に対する弾圧の支持を誰が下したかということです。なぜなら、この問題が3・1人民蜂起に対する弾圧が、国家による極めて重大な犯罪となる最も重要な根拠となるためです」と訴えた。この質問に対してユン副館長は、3月11日に原敬総理大臣から長谷川好道朝鮮総督に送られた以下の電報を示した。

「今回ノ騒擾事件ハ内外ニ対シテ表面上ニハ極メテ輕微ナル問題ト看做スヲ必要トス、然レトモ裏面ニ於テハ嚴重ナル処置ヲ採リ将来再発ナキ様期セラレ度但シ其ノ処置ニ就テハ外国人ノ最モ注目スル問題ナルニ依リ苟モ殘酷可察ノ批評ヲ招カサルコトニ十分ノ注意相成度」¹²

その上で、こうした事例から、「日本政府が直接指示を行なった張本人である」と主張した。また、ファン所長も、朝鮮において合法的に弾圧を遂行するための実例として、朝鮮総督の命令により制定され、1919年4月15日に公布された制令「政治ニ関スル犯罪処罰ノ件」を取り上げた。そして、「この悪法の第1条には「政治ノ変革ヲ目的トシテ多数共同シ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ妨害セムトシタル者八十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ処ス」と規定している。この条項は3・1人民蜂起が日帝の植民地統治征服を目標とした規定であり、ゆえに朝鮮人民の大衆の闘争を犯罪として認定し、弾圧するということを公に宣言したものであった」と訴えた。制令「政治ニ関スル犯罪処罰ノ件」についてはウィ室長も、海外の朝鮮人による闘争を弾圧することができるようにした第3条の規定「本令ハ帝国外ニ於テ第一条ノ罪ヲ犯シタル帝国臣民ニ亦之ヲ適用ス」について言及した¹³。その上で司会者は座談会の出席者に対して、「当時、日帝はこのようにして3・1人民蜂起を野獣のように弾圧するための法的、制度的装置を作った状態で、歴史上類を見ない悪徳な方法で蜂起する群衆に対し、大虐殺、蛮行を行ないませんでしたか」と問いかけた。

次に、歴史的意義についてファン所長は、「朝鮮民族の愛国気質と革命的扶持を余すことなく見せて、日帝の植民地統治に大きな打撃を与え、我が人民の民族的覚醒を非常に高めた」と指摘した。また、ウィ室長も、「当時の植民地隷属国家における人民の、民族解放運動発展にも大きな鼓舞的影響を与えた」点を強調した。

そして、最後に司会者は、「3・1人民蜂起から100年となったが、今日も我が人民は血塗られた日帝の最悪の歴史を絶対に忘れずにおり、なおさら、その時の血の対価を千百倍、受け取らなくてはならない」「日本の反動は、我が人民のこのような反日感情を正しく知り、過去に犯した最悪の歴史を誠実に反省し、それにとまなう謝罪と拝謝の道に出なければならない」と述べ、座談会を総括した。

3 日本

考察の対象は、公共放送NHKの『ニュース7』、および、英語によるNHKの海外向けサービスであるNHKワールドTVの『NEWSROOM TOKYO』とした。『NEWSROOM TOKYO』は、日本を含むアジアのニュースを中心に伝える海外向けニュース番組である。

(1) NHK『ニュース7』

『ニュース7』は、ヘッドラインで3・1独立運動関連のニュースを取り上げず、全12項目のうち、8番目のニュースとして扱った。

ニュースでは、ソウルの光化門広場で開かれた「第100周年3・1節記念式」における文在寅大統領の演説のうち、日本との関係について未来志向を強調する一方、間接的に慰安婦問題や徴用をめぐる問題で日本側の対応を求めた部分について伝えた。また、「力を合わせて被害者たちの苦痛を実質的に癒やす時、韓国と日本は心が通じ合う真の友人になることでしょう」と訴える箇所の声も用いた。その上で、日本を直接批判することは避け、悪化している日韓関係にさらなる悪影響が出るのを抑えたい意図があるものとみられるとのコメントで締めくくった。映像は、式典の会場と演説する文在寅大統領の様子を用いていた。3・1独立運動関連ニュースの放送時間は47秒、ニュース全体の約2.6%であった。

表3 『ニュース7』のニュース項目(放送日時:2019年3月1日 19:00~)

No.	ニュース項目	項目入り時間(尺)
	【ニュース】	
①	熊本県で震度3 津波なし	0' 00" ~ (34秒)
	(今日の主なニュース項目) キャスター 2S	0' 34" ~ (3秒)
②	北朝鮮外相 異例の深夜会見の思惑	0' 37" ~ (6分36秒)
③	与野党攻防ヤマ場 根本厚生労働相 不信任案を否決	7' 13" ~ (3分10秒)
④	事件前に不審な電話 同一犯の疑いも	10' 23" ~ (4分10秒)
⑤	あと1か月で新元号 発表	14' 33" ~ (4分39秒)
⑥	就活本格化「経団連ルール」は最後	19' 12" ~ (2分12秒)
⑦	首相と沖縄県知事が会談	21' 24" ~ (2分27秒)
	(今日の主なニュース項目) キャスター 1S	23' 51" ~ (7秒)
	【フラッシュニュース】	
⑧	力あわせ苦痛癒やす時 真の友人に 日韓関係ムン大統領演説	23' 58" ~ (47秒)
⑨	“国内最古の坑道、確認 徳島「若杉山遺跡」	24' 45" ~ (46秒)
	【スポーツ】	
⑩	東京マラソン 大迫傑選手が意気込み	25' 31" ~ (1分06秒)
⑪	大学スポーツの新組織“UNIVAS”発足	26' 37" ~ (1分10秒)
	【気象情報】	
⑫	土曜日、日曜日の天気ほか	27' 47" ~ (2分00秒)
	【エンディング】	
	キャスター 2S	29' 47" ~ (13秒)

(2) NHK ワールドTV 『NEWSROOM TOKYO』

『NEWSROOM TOKYO』も、ヘッドラインでは3・1 独立運動関連のニュースを取り上げず、全15項目のうち、8番目のニュースとして伝えた。

ニュースではまず、前日までハノイで行なわれていた米朝首脳会談について、記念式典における文在寅大統領の演説の中から、韓国政府は米国や北朝鮮と緊密に疎通し、協力して両国間の対話の完全な妥結を必ず成し遂げるとの希望を語る部分を取り上げた。続いて、日本との関係に言及した「過去は変えることはできませんが、未来は変えることができます。歴史を鏡として、韓国と日本がしっかりと力を合わせる時、平和の時代がはっきりと我々の側に近づいてくるでしょう。力を合わせて被害者たちの苦痛を実質的に癒やす時、韓国と日本は心が通じ合う真の親友になることでしょう」という演説をコメントで伝えるとともに、徴用工訴訟問題をめぐる日韓関係の現状について触れた。映像については、『ニュース7』と同様、式典の会場と、演説する文在寅大統領の様子を用いていた。3・1 独立運動関連ニュースの放送時間は1分52秒、ニュース全体の約4.7%であった。

NHKは国内向けの『ニュース7』、および、海外向けの『NEWSROOM TOKYO』においてそれぞれ、3・1 独立運動関連ニュースを扱っているものの、ニュースの優先度としては高くない。『NEWSROOM TOKYO』の方が放送時間は長めであるが、基本的にはいずれも、記念式の会場と、文在寅大統領の演説を伝えるだけの内容にとどまっている。

表4 『NEWSROOM TOKYO』のニュース項目(放送日時:2019年3月1日 20:00~[日本時間])

No.	ニュース項目	項目入り時間(尺)
	(オープニング・CG画面)	0' 00" ~ (11秒)
	(ヘッドライン・キャスター 2S)	0' 11" ~ (50秒)
①	INDIA-PAKISTAN TENSIONS	1' 01" ~ (4分01秒)
②	US-N.KOREA SUMMIT: CONFLICTING VERSIONS	5' 02" ~ (1分29秒)
③	LOOKING BACK ON SUMMIT	6' 31" ~ (2分12秒)
	(BUSINESS・CG画面)	8' 43" ~ (8秒)
④	HUAWEI PLEADS NOT GUILTY	8' 51" ~ (1分42秒)
⑤	US POSTPONES TARIFFS WITHOUT DEADLINE	10' 33" ~ (58秒)
⑥	3 AUTOMAKERS WORK ON ALLIANCE	11' 31" ~ (50秒)
⑦	ECONOMIC GROWTH SLOWS TO 6.6%	12' 21" ~ (1分55秒)
⑧	MOON: S.KOREA ROLE IMPORTANT FOR DEAL	14' 16" ~ (1分52秒)
⑨	PHILIPPINE JOURNALIST' S COURT DATE DEFERRED	16' 08" ~ (1分40秒)
⑩	OKINAWA GOV. MEETS ABE OVER REFERENDUM	17' 48" ~ (1分55秒)
⑪	WON' T YOU BE MY NEIGHBOR?	19' 43" ~ (4分11秒)
	(PEOPLE and PLACES・CG画面)	23' 54" ~ (9秒)
⑫	THE BUSINESS OF BEING SINGLE	24' 03" ~ (3分45秒)
⑬	TOKYO GAMES VENUES TO BE SMOKE-FREE	27' 48" ~ (47秒)
	(インターミッション・NEWS ROOM TOKYO)	28' 35" ~ (7秒)
⑭	A NEW VIEW OF HOKUSAI	28' 42" ~ (6分50秒)
	(WEATHER・CG画面)	35' 32" ~ (10秒)
⑮	天気予報、気温予想、花粉情報	35' 42" ~ (3分24秒)
	(ヘッドライン・キャスター 2S)	39' 06" ~ (0分17秒)

おわりに

韓国、北朝鮮、日本の順に、3・1独立運動関連の伝え方の特徴について考察したが、韓国では、前日に米朝首脳会談が決裂したものの、このニュースよりも3・1独立運動に関するニュースを上位に位置付けていた。米朝首脳会談の重要性から、3・1独立運動を扱ったニュースを最初に取り上げ、それに続いて米朝首脳会談に関するニュースを手厚く報道していた。その上で、再び3・1独立運動関連のニュースに戻って、こちらも手厚く伝えるというスタイルをとっていた。また、記者リポートやニュースのナレーションのバックに音楽を流すなど、視聴者の感情に訴えかける演出は韓国の報道に散見されるスタイルである。さらに、日韓の歴史問題と関連付けて登場するのが、「独島」報道であるが、現地の音声や音楽を用いるなど、様々な演出が試みられていた。

一方で北朝鮮は、「3・1人民蜂起」を定時のニュース以外の形、すなわち、座談会で伝えたという点に特徴がある。座談会では、法の名の下に日本に苦しめられた朝鮮人の怒りや、日本に対して命がけで立ち向かった人々の闘争精神についてなど、いくつかの論点に絞って話を展開しており、全体としては朝鮮人の民族意識を鼓舞することに力点が置かれていた。日朝間の関係悪化が続く中、この座談会は日本国民に対しての北朝鮮政府からの強いメッセージであると読み取ることもできた。具体的には、最後に司会者が、朝鮮の人々は100年経っても過去は忘れておらず、反日感情の原因について日本は正しく認識して反省をする必要があると総括した部分などが挙げられる。また、この座談会に限ったことではなく、北朝鮮の主張全般に見られることであるが、3・1独立運動は平壤から始まり、全体に波及したという流れで捉えているなど、歴史の事実認識に関して独自の解釈をしている部分がある点は否めない。一例として、北朝鮮が在外同胞向けに運営する通信制の金日成放送大学においては、「3・1人民蜂起」の現場に関する説明で、まず平壤の状況から伝えている。この中で、青年学生や市民たちが昼の鐘の音を合図に集合し、独立宣言書を朗読して朝鮮が独立国家であることを宣言した後、「朝鮮独立万歳」「日本人と日本の軍隊は立ち去れ」などとシュプレヒコールを上げながら激しい街頭デモを繰り広げられたことや、幼き日の「偉大な首領金日成同志」が反日蜂起の隊列に参加したことなどを取り上げている。これらの説明の後に、ソウルでも独立万歳示威闘争が繰り広げられたことを伝えるといった具合である¹⁴。さらに、座談会では出演者が、日本を罵るような語彙やコメントを多用しているが、これも北朝鮮の独特なスタイルであると言える。

日本では3・1独立運動関連のニュースは優先順位が中位か、それ以下の扱いであった。日本で当時の新たな史資料を発掘し、それをもとに日韓両国での取材を続けて報告したのが韓国のニュース番組であった。また、日本の史資料を用いて植民地期における「悪法」の実態を訴えたのが北朝鮮の座談会形式の番組であった。これらの点を勘案すると、加害者側と被害者側という立場の違いはあるが、日本と韓国、および、北朝鮮の3・1独立運動に対する認識の違いが極めて大きいことは明白である。まずは日本のメディアが3・1独立運動などを含む負の歴史についても積極的に発信し、周辺諸国との認識の違いの「溝」を埋めていくことで、お互いの関係改善への第一歩となることを期待したい。

注

- 1 姜在彦『朝鮮近代史』平凡社、1986年、189-90頁、および、山辺健太郎『日本統治下の朝鮮』岩波書店、1971年、60-61頁、を参照。なお、山辺は崔八鏞を「早大政経科三年」と紹介しているが、所属に関しては、早稲田大学大学史編集所編『早稲田大学百年史 第二巻』（早稲田大学出版部、1981年、205頁）の記述に従って修正した。
- 2 姜在彦、前掲書、190頁。

- 3 朴慶植『朝鮮三・一独立運動』平凡社、1976年、100-01頁。
- 4 同上書、9頁。
- 5 3・1独立運動の研究全体を確認する際には、例えば、愼蒼宇による3・1独立運動の研究史がよくまとまっており有用である。愼蒼宇「特集にあたって」(【特集】「朝鮮三・一独立運動100年」その歴史像の再検討—民族運動史の新たな可能性を探る(1))『大原社会問題研究所雑誌』727号(2019年5月)、1-7頁。本稿の執筆にあたって、現在も大きな差異がある日本と韓国の歴史認識について研究史の観点から検討した愼蒼宇の研究からは多くの示唆を得た。また、ニュース内容の比較・分析にあたっては、筆者も関わったNHK放送文化研究所における研究を参考にした。NHK放送文化研究所 メディア研究部 海外メディア研究グループ編「戦後70年報道」海外のテレビはどう伝えたか〜中国・台湾・韓国・アメリカ・イギリス〜』『放送研究と調査』第66巻第1号(2016年1月)、2-33頁。
- 6 総合編成チャンネルとは、韓国において、地上放送を除いたケーブルテレビ、衛星放送、IPTVなどを通じて、報道、教養、娯楽などあらゆるジャンルの放送番組を編成することができるチャンネルを指す。韓国では1980年以降、多様な番組をバランスよく提供する「総合編成」の運営は、法律によりKBS、MBC、SBSなどの地上放送事業者に限られてきた。しかし、李明博政権下において、規制緩和策の一環として総合編成チャンネルを運営する事業への新規参入を認める方針が打ち出され、2009年7月には新聞法や放送法などを含むいわゆる「メディア関連法」の改正案が可決された。これにより、新聞社や大企業の放送事業参入が可能となり、2011年12月に国内3大新聞社と経済紙が運営する4つのチャンネルが一斉にスタートした。
- 7 ニールセン코리아調査。2019年3月1日放送『ニュース9』の世帯視聴率(全国)。https://www.nielsenkorea.co.kr/tv_terrestrial_day.asp?menu=Tit_1&sub_menu=1_1&area=00&begin_date=20190301 [閲覧日:2019年8月23日]
- 8 ニールセン코리아調査。2019年3月1日放送『JTBC ニュースルーム』の世帯視聴率(全国)。https://www.nielsenkorea.co.kr/tv_terrestrial_day.asp?menu=Tit_1&sub_menu=2_1&area=00&begin_date=20190301 [閲覧日:2019年8月23日]
- 9 国家報勲処の職務については、大統領令第29998号『国家報勲処とその所属機関職制(국가보훈처와 그 소속기관 직제)』第3条において、国家有功者とその遺族に対する礼遇および支援、5・18民主有功者・特殊任務有功者に対する礼遇、報勲補償対象者・枯葉剤後遺症症患者・除隊軍人に対する支援、その他法令で定める報勲に関する事務を管掌することが定められている。
- 10 『朝鮮騒擾経過概要』陸軍省、1919年、5頁。なお、「大正八年九月 陸軍省印刷」との記載があるものの、著者名についての記載はない。
- 11 北朝鮮は、金日成の父親の金亨稷(キム・ヒョンジク、1894~1926)が育てた愛国志士と青年学生たちが3・1蜂起の先頭に立ったと主張するとともに、金亨稷が3・1運動の実際の主役で黒幕でもあり、金日成も8歳の時、平壤・普通門における反日デモに参加したとしている。北朝鮮はその根拠として、金亨稷の主導によって1917年3月に平壤で結成された「朝鮮国民会」という国内秘密結社団体を挙げている。しかし、朝鮮国民会を主導的に率いたのが金亨稷だという証拠は見当たらず、他の人物が主役であったという証言が多い。アン・ヨンベ(안영배)「銃刀に最後まで素手で立ち向かって…'日帝鉄鑊城'に亀裂を起こし(총칼에 끝까지 맨손으로 맞서…'일제 철용성'에 균열 일으켜)」『東亜日報』2018年7月14日、A10面。
- 12 番組では、以下の史資料より当該箇所を画面上に映し出して説明。「三・一運動日次報告(朝鮮軍司令官、一九一九年三~八月)」『現代史資料(25)朝鮮(1)』みすず書房、1966年、105頁。
- 13 番組では、以下の史資料より当該箇所を画面上に映し出して説明。「三・一運動日次報告(朝鮮総督、一九一九年三~十月)」、同上書、267頁。
- 14 金日成放送大学が運営するサイト「我が民族講堂(우리민족강당)」より、「朝鮮歴史」項目の「第3編 朝鮮近代社会」中、第4章第1節の2「1919年3.1人民蜂起(1919년 3.1 인민봉기)」を参照。https://ournation-school.com/index.php?menu=lecture&cno=13&id=1593 [閲覧日:2020年1月20日]